

評価対象	羅針盤		方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価		
	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	・生徒のチャレンジ精神と自己実現に対して、積極的支援を図る。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者が期待している教育活動や教育内容が概ねできていると思われるが、さらなる工夫を継続したい。</li> <li>・ICT活用推進に向け、校内研修の充実を図るとともに、教員間の情報共有を行い、システムの構築に努めた。このことが教員の意識改革を進め、授業改善の充実につながった。</li> <li>・総合的な探究の時間を進路指導部に位置づけ、実施内容について検証し、全職員で授業内容の共有を図った。</li> <li>・アンケート調査において多くの生徒が本校の教育活動に満足していると回答しているが、結果をさらに分析し、今後も改善に向け、検討を進めたい。</li> <li>・組織的な授業改善をさらに進め、職員相互に高め合いながら、本校ならではの特色ある教育を実践し、生徒の資質・能力向上に努めたい。</li> <li>・今後は、進路講演会等の学校行事日に保護者への授業公開の場を設けることにより、本校の授業改善についてさらなる理解を得たい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性学を中心とした探究的な学習活動に大変特色があると感じた。探究内容を自分事としてとらえ発信・発表できる生徒がいる一方、そうでない生徒はどの程度いるのか、その生徒はどの程度、目指す姿の基準に到達できているのかも知りたい。</li> <li>・保護者への情報提供のあり方について、さらなる工夫をお願いしたい。</li> </ul>		
		② 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	・授業や行事等の検証に絶えず努め密度の高い教育活動を展開する。	A	A	A				
	2 生徒の主体的で深い学びを引き出すための「授業改善」による学校の特色化に努めていますか。	① 授業に「工夫」がなされていて、主体的に取り組めると感じている生徒が70%以上である。	・生徒各自が学習の目標を明確にもち、主体的に取り組めるような授業を展開する。	A	A	A				
		② 本校が「授業改善」による学校の特色化に力を入れていると感じている保護者が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webや「学年だより」などを通じて保護者への情報提供を行う。</li> <li>・学校行事、PTA行事等を通じて本校教育活動の理解を図る。</li> </ul>	B	B	B				
	II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導(授業等)を行っていますか。	① 授業等の学習内容に満足している生徒が75%以上である。	・授業研究や授業改善を行い各教科の指導力を向上させる。	A	A			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね授業内容に満足している生徒や真剣に取り組んでいる生徒は多いが、一方で授業外における学習時間が2時間以上に達していない状況であることが継続的な課題である。</li> <li>・教科間の連携による課題の適量化や主体的に学ぼうとする授業の展開と個に応じた課題の工夫などに努めているが、数値の上昇は見られない。</li> <li>・教員相互の授業参観についても、積極的に行い、意見を交換できる場の設定等、方法の検討を行う。</li> <li>・一人一人の教員が常に授業改善や教材研究に努め、充実した授業を展開できるようにする。</li> <li>・生徒の学習意欲の向上に向け、体系的なキャリア教育等のさらなる充実を努める。</li> <li>・授業参観を行うことに止まらず、互いに積極的な意見交換の場を設ける等の授業研究の工夫が課題である。</li> <li>・授業力向上を目指した校内研修等の充実を図る。</li> </ul>
			② 授業に真剣に取り組んでいる生徒が75%以上である。	・予習・復習を励行し、目的をもたせて授業に臨ませる。	A	A			A	
4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。		① 学習に対して達成感をもっている生徒が70%以上である。	・進路指導に結びついた学習指導の工夫を図る。	A	A	A				
		② 授業以外での1日当たりの平均学習時間は2時間以上である。	・教科間調整による宿題や課題の充実を図り、効果の検証を行う。	C	C	C				
5 生徒の主体性を生かした授業を実施していますか。		① 各教員が他教員の授業を年間2回以上参観し、授業研究をしている。	・校内研修推進委員会を中心に計画的組織的に実施する。	A	A	A				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。また、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	① 学年会議や生活係会議、教育相談会議において、生徒に関する情報の交換を月に3～4回程度行っている。	・会議における十分な情報交換と情報の共有化に努めるとともにSCとの連携を密にする。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生になると、ヘルメットを被らない生徒が増えるようである。生徒の同調意識が働くためか、被らない生徒が多数派だと感じられる状況がある。自他の生命を守るために、生徒の意識を変える指導の工夫をお願いしたい。</li> <li>・認知したいじめの解消率100%という数値を常に疑いながら、危機管理に努めていたきたい。</li> </ul>			
		② 学校生活に満足感を覚えている生徒が80%以上である。	・組織的な教育相談体制の確立と機能の充実を図る。	B	B	B				
		③ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	・いじめ対策委員会を定期的に開催し、情報の共有化に努める。	A	A	A				
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 1日当たりの遅刻者の総数が、5人(0.7%)以内である。	・基本的な生活習慣確立のための指導を徹底する。	A	A	A				
		② 1日当たりの欠席者の総数が、10人(1.4%)以内である。	・家庭との連絡を密にし、協力体制を確立する。	A	A	A				
	8 生徒会行事や部活動への積極的な参加を促す指導を行っていますか。	① 生徒会行事が有意義であると感じている生徒が80%以上である。	・行事の重点化やねらいの明確化等、活動が生徒主体となるような工夫を図る。	B	B	B				
		② 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	・部活動参加率を高め、活動支援を確立する。	B	B	B				
	IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	① ガイダンス機能を活かした進路指導が行われていると感じている生徒が70%以上である。	・学年の状況に応じた段階的な進路指導計画の構築とそれを基にした進路資料の作成に努める。	A	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路行事について、オンライン等形態を工夫して実施した。大学教授等による模擬授業などは、早期の進路目標の設定に効果的である。</li> <li>・コロナ禍で縮小した事業所等によるインターンシップ受け入れが回復しつつあり、看護体験などへの参加者が増えた。</li> <li>・進路実現に向けて学力向上を図るため、課外授業や補習の充実を努めた。さらなる努力を続けていきたい。</li> <li>・3年間を見通したキャリア教育の一層の充実を図るために、具体的な方策を打ち出し、連携して実行する必要がある。</li> <li>・企業訪問や模擬授業が進路を選択していく上での参考やインターンシップ参加の意識づけにつながるようさらに動きかけを工夫する。</li> <li>・学力向上が進路目標の達成に不可欠であることを自覚させ、根幹となる授業への真剣な取組と課外等への積極的な参加を促し、日常的に進路意識を高める指導と支援を行う。</li> </ul>	
② 高校3年間で少なくとも1回インターンシップに参加した生徒の割合が30%以上である。			・インターンシップに積極的に参加するように働きかける。	C	C	C				
③ 生徒の将来の志望について理解している保護者が75%以上である。			・進路講演会、類型説明会等での具体的な情報提供を行う。	A	A	A				
10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		① 進路実現に向け積極的に取り組んでいる生徒が75%以上である。	・「自己の生き方」と「将来の職業」の関連を理解させる指導方法の工夫に努める。	A	A	A				
	② 進路目標達成に必要な学力を養う努力をしている生徒が70%以上である。	・授業を大切に、課外、補習等に積極的に参加させ、進路意識を高める支援を行う。	A	A	A					
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① 「学校公開」を、Web公開を含めて年3回実施している。	・PTA総会・オープンスクール等、開催時に授業公開等を実施する。あわせて、Web公開等、多様な公開方法について検討する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に実施される2回(館林・大泉)の学校説明会を1回(館林のみ)に集約し、生徒主体の内容構成に改めた。</li> <li>・従来の一律土曜日開催のオープンスクールを取りやめる代わりに、Webページを充実させるとともに、中学生・保護者の希望に沿った個別対応に改めた。部活動公開の方法について、さらなる工夫が必要である。</li> <li>・近隣の中学生及び保護者への広報活動として、平日の放課後に5回、館女Talkという名で、本校生徒による学校案内並びに個別相談会を実施した。</li> <li>・PTA総会を書面総会の形で実施し、保護者の方に参加をいただくことができた。実施形態と内容について、さらなる工夫を継続したい。</li> <li>・ホームページの更新頻度を高め、学校からの情報発信の充実を努めた。</li> <li>・教職員と保護者、地域住民とが情報を共有できるよう、また生徒募集にもつながるよう今後も広報活動の充実を努める。</li> <li>・一層の情報収集に努め、学校教育の様々な場面で地域人材の活用を図る。あわせて、総合的な探究の時間等において、生徒を地域社会へ送り出し、視野を広げさせる機会を探りたい。</li> </ul>			
		② PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が70%以上である。	・保護者が学校に足を向けやすいような開催日時の設定と内容の充実を図る。	B	B	B				
		③ 学校ホームページの更新を月3回以上行っている。	・最新かつ詳細な情報の提供に努める。	A	A	A				
	12 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回実施している。	・交通安全教室、防犯教室や地域大学等の講師による模擬授業を実施する。	A	A	A				
VI 教育デジタル化に努めていますか。	13 ICTを活用した指導を行っていますか。	① ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。	・校内研修をととしてICTの活用場面の充実を図る。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業でのICT活用事例を参考にされたい。オンラインでの情報収集が可能であり、教育活動にも生かせるとう確信する。</li> <li>・ICTの活用効果は大きいと認める一方、書いて身につくこと(書かぬば身につかないもの)もあるので、生徒の実態や学習の取り組みを見ながら、真に効果的な場面での活用を進めていただきたい。</li> </ul>			
		② 学習支援ソフトウェアを利用した授業を週3回以上実施している。	・ICTの活用例等を積極的に出し合い、情報共有を行う。	A	A	A				
	14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	① オンラインによる通知方法を活用している割合が70%以上である。	・活用方法を共有し、オンラインによる通知配信の充実を図る。	A	A	A				
		② オンラインによる全校生徒を対象としたアンケートを10回以上実施している。	・紙面の特性も活かしつつ、場面に応じてオンラインによるアンケートを積極的に実施する。	A	A	A				
VII 生徒が安全で心身共に健全な学校生活を送れる努力をしていますか。	15 生徒の身体的・心理的状態の把握に努めていますか。	① 健康診断・相談、教育相談等の機能が充実していると感じている生徒が70%以上である。	・SCや外部機関との連携を生かしながら、校内の教育相談の充実を図る。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の取組を継続していただきたい。</li> </ul>			
	16 安全教育の徹底に努めていますか。	① 年2回以上、避難訓練等により防災意識の涵養を図っている。	・避難訓練に真剣に取り組ませるとともに、校内安全点検の徹底を図る。	A	A	A				